

エボニック グループとセーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

東松島市 矢本東保育所 開所式を開催

- ・ 延床面積 679.04 m²、保育児童 120 人受け入れ可能な、東松島市最大の保育所に
- ・ 市の基幹保育所として、保育環境改善に寄与
- ・ 宮城県内の公共施設では例を見ない、再生可能エネルギー“地中熱”を利用した、環境に配慮した保育施設

2012 年 12 月 14 日

内藤 吾朗
日本におけるエボニック グループ
グループ コミュニケーションズ
T 03-5323-7391
F 03-5323-7399
goro.naito@evonik.com

エボニック グループ(以下、エボニック)は公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(以下、SCJ)とともに、宮城県東松島市において被災した矢本東保育所を再建し、去る 12 月 3 日、開所式を開催しました。

本事業は、東日本大震災で被災した矢本東保育所の移設にともない園舎を新築するもので、エボニックと震災後より東松島市で子ども支援の実績のある SCJ の協働により建設されました。

式は阿部秀保 東松島市長や五野井敏男 東松島市議会議長臨席の元でおこなわれ、無事に完成したことを祝うと共に、矢本東保育所の年長と年中組の児童による感謝の言葉や歌のプレゼントがありました。在日エボニック グループ代表であり、エボニック デグサ ジャパン代表取締役社長のウルリッヒ・ジーラーは、「エボニックからの支援は世界中のエボニック グループの社員からの義援金によるものです。被災地の子どもたちを助けようという彼らの強い思いが、こうして子どもたちの笑顔つながったのを見ることができて非常にうれしい。当グループとしてはハードの提供だけではなく、今後もソフトの支援を継続しておこなっていきたい」と話し、引き続き地域のサポートを続けることを約束しました。

当保育所は、床面積 679.04 m²を誇る東松島市内最大規模の保育施設として今後、市内の保育所の再編、保育環境改善に寄与していきます。また地中熱を利用したヒートポンプエアコンを一部採用し、環境未来都市に選定された東松島市にふさわしい保育施設として、今後も多くの児童を育てていくことが期待されます。

日本におけるエボニック グループとセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは今後も、次世代を担う子どもたちのサポートを通じて、被災地域の復興への支援をおこなっていきます。

三輪 喜則
公益社団法人
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
コミュニケーションズ部
広報
T 022-263-4561
080-2568-3144
F 022-263-4562
miwa@savechildren.or.jp

エボニック デグサ ジャパン
株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

公益社団法人
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
〒101-0047
東京都千代田区内神田 2-8-4
山田ビル 4 階

<http://www.savechildren.or.jp/top/index.html>

以上



除幕する阿部秀保市長(左)とウルリッヒ・ジーラー社長



東日本大震災復興支援チャリティーマッチ

2011年5月17日、ドイツのデュイスブルグにおいてエボニックがメインスポンサーのボルシア・ドルトムントと欧州で活躍する日本人選手によるチャリティーマッチがおこなわれました。

欧州選抜チームには当時ドルトムントに在籍していた香川選手、また内田選手や長谷部選手などが名を連ね、被災地復興を呼びかけました。

その際の収益金も今回の建設に寄与しています。



東松島市矢本東保育所建設計画 建築概要

施設名称:	矢本東保育所
所在地:	東松島市矢本字大溜 1-1
敷地面積:	6,765.25 m ²
用途地域:	第二種中高層住居専用地域
防火地域:	建築基準法22条区域
用途:	保育施設
工事種別:	新築工事
構造:	木造
規模:	平屋
建築面積:	821.47 m ² (248.50 坪) m ²
延床面積:	679.04 m ² (205.00 坪)
建物高さ:	5.44m
児童定員:	120 名予定
職員数:	18 名
設計者:	株式会社横山芳夫建築設計監理事務所

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとエボニック グループの東日本大震災復興支援事業について

2011年7月、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとエボニック グループは東日本大震災の復興支援に関して包括的な取り組みを協同でおこなうことに合意しました。

具体的には今回の保育所建設の他、SCJによる学童保育指導員サポート活動にエボニックが協力し、「子ども化学実験ショー」を被災地の子どもたちに提供しています。

昨年から継続しているこの「子ども化学実験ショー」では、被災地の学童・保育所 33ヶ所及び仮設 1か所の合計 746人の子どもたちに笑顔と化学の楽しさを届けています。

SCJとエボニックは施設建設というハード面、教育というソフト面の双方から今後お互いに協力しながら、被災地の子どもたちの支援を継続的にこなっていきます。

エボニック インダストリーズについて

ドイツのクリエイティブな産業グループであるエボニックは、スペシャルティケミカルの世界的リーダーです。私たちの活動はヘルス・ニュートリション、エネルギー効率化、グローバル化といった世界のメガトレンドに集中しており、企業の有益な成長と企業価値の増大は私たちが目指す戦略の大事な根幹となります。エボニックは革新的なプロセスと統合的な技術プラットフォームを強みとしています。

エボニック インダストリーズは世界100ヶ国以上で活動しており、2011年度は33,000人以上の社員を有し、総売上高は145億ユーロ、EBITDA(金利・税金・償却前利益)は28億ユーロを計上しました。

セーブ・ザ・チルドレンについて

セーブ・ザ・チルドレンは、国連公認の子ども支援の国際 NGO。世界最大のネットワークを活かして、世界の子どもたちとその家族、地域全体を改善するため、緊急援助を含め、地域に根ざした支援活動を約 120 ヶ国で展開しています。1919 年の設立以来、90 年以上にわたる活動は、世界の NGO の代表格として各国政府からもその重要性を認められています。日本では外務省から、公益社団法人および、特定公益増進法人として認可を受けています。